



令和3年度

キックオフの会事例集

～青少年赤十字への意識化を図り、活動を充実させるために～



キックオフの会について

- ・加盟校の子どもたちが、赤十字や青少年赤十字に対する意識を高めたり、活動を充実させたりするための方途の一つとして、キックオフの会を実施していただきました。
- ・令和3年度は、コロナウイルス感染拡大防止の為にWebでキックオフの会を実施された学校も多くなりましたが、この会を実施することにより約8,500名のみなさんが赤十字や青少年赤十字について改めて学ぶことにより、今まで自分たちが学校で取り組んできたことや、これから取り組もうとする事は、青少年赤十字の活動に深くつながっていることを認識できたのではないかと思います。
- ・そして、児童生徒の皆さんには今一度自分の周囲を見つめ直し、課題や問題点などに『気づき』自分に出来ることは何かを『考え』そして、実際に『実践する』姿を期待しています。

助成事業の各推進校では、
児童生徒の皆さんに、

どのような場で、
どのような内容を話していただけたのでしょうか？

各校で行われた『キックオフの会』をご覧ください。



防災教育推進校

- ① 岐阜市立厚見学園
- ② 岐阜県立大垣特別支援学校

青少年赤十字創立100周年 事業推進校

- ① 養老町立笠郷小学校
- ② 大野町立東小学校
- ③ 高山市立栃尾小学校
- ④ 東白川村立東白川中学校
- ⑤ 岐阜県立岐阜高等学校

研究推進モニタ一校

- ① 岐阜市立鶉小学校
- ② 岐阜市立長森西小学校
- ③ 各務原市立那加第三小学校
- ④ 瑞穂市立西小学校
- ⑤ 大垣市立時小学校
- ⑥ 海津市立西江小学校
- ⑦ 垂井町立表佐小学校
- ⑧ 神戸町立南平野小学校
- ⑨ 美濃市立美濃小学校
- ⑩ 美濃市立藍見小学校
- ⑪ 郡上市立牛道小学校
- ⑫ 郡上市立大中小学校
- ⑬ 土岐市立妻木小学校
- ⑭ 恵那市立大井第二小学校
- ⑮ 中津川市立下野小学校
- ⑯ 下呂市立竹原小学校
- ⑰ 岐阜市立岐阜中央中学校
- ⑱ 岐阜市立岩野田中学校
- ⑲ 各務原市立緑陽中学校
- ⑳ 山県市立伊自良中学校
- ㉑ 池田町立池田中学校
- ㉒ 恵那市立恵那西中学校
- ㉓ 恵那市立恵那北中学校
- ㉔ 飛騨学園高山西高等学校
- ㉕ 岐阜県立揖斐特別支援学校



防災教育推進校一①

- 1 日 時 令和3年5月13日(木)
- 2 場 所 お昼の放送
- 3 担 当 教頭
- 4 児童数 274名+教職員32名

岐阜市立厚見学園

赤十字について



防災教育推進校一②

- 1 日 時 令和3年6月14日（月）
- 2 場 全校集会
- 3 担 当 児童生徒会長、防災担当教員
- 4 児童数 254名

岐阜県立大垣特別支援学校

<主な内容>

- 日本赤十字と青少年赤十字の成り立ちについて
 - ・赤十字の精神は、「やさしさ」や「思いやり」である。
- 青少年赤十字について
 - ・大切にしている活動は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」である。
- 大垣特別支援学校で今年度取り組むことについて
 - ・「防災教育」を通して、「自分や周りの人が幸せであるために」「周りの人と助け合う」ことの大切さについて考え、災害に備えて「気付き、考え、実行する」ことを学ぶ。



※新型コロナウイルスの影響により、児童生徒が各教室で放送を聞く形での実施になったが、それぞれの教室で青少年赤十字についてや今年度の取組みについて知ることができた。

青少年赤十字創立100周年事業推進校①



- 1 日時 令和3年6月
- 2 場 1年生教室
- 3 担当 教務主任、担任4名
- 4 児童数 39名+教職員5名

養老町立笠郷小学校

①園小交流について

コロナ禍でも、園小交流をどう進めていこうか話し合いました。

②日常生活で相手を大切にすることについて

「聴く」は、「目、耳、心(十四の心)」という漢字からできていること、だから、相手の目を見て、耳を傾け、心を働かせて「聴く」ことを学習しました。

③「自分や周りの人が幸せになるために」「周りに困っている人がいたら助け合う」等、身近な課題や問題点に「気づき、考え、実行する」ことが、青少年赤十字の活動であると学びました。



青少年赤十字創立100周年事業推進校一②



- 1 日時 令和3年9月29日(水)
- 2 場 全校集会
- 3 担当 校長
- 4 児童数 252名+教職員28名

大野町立東小学校

- (1)日本赤十字社について
 - ・どのように始まったのか
 - ・どのような活動をしているのか
- (2)青少年赤十字(JRC)について
 - ・JRCが大切にしていること
 - ・「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」
- (3)私たちの活動「I love東小 and my town」とつながっていること
 - ・東小学校のボランティア活動
 - ・6年生の福祉にかかわる総合的な学習の時間での活動
- (4)今の東小、大野町のためにできること大募集
 - ・活動を応援していただけることになり、ボランティア用の軍手をいただいたこと
 - ・自分たちにできることをみつけて、みんなで取り組んでいこうという呼びかけ

- 日本赤十字社については、ニュース等で実際に活動している様子や、献血車の存在などから知っている児童が多かった。
- 会終了後、早速、軍手はいつもらえるのかと質問にくる児童や、コロナでできなかった地域の掃除をやれると思うという児童がいた。
- 自分たちが普段行っている活動が、日本や世界を支えている活動につながっているという意識をもつことができ、今後の活動への意欲を高めたと同時に、日本赤十字、青少年赤十字の活動に対する認識を深めることができた。



青少年赤十字創立100周年事業推進校一③



- 1 日時 令和3年5月14日（金）
- 2 場 全校集会
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 54名

高山市立柝尾小学校

- 1 この会の目的を知る。
 - ・青少年赤十字の記念事業対象校となったこと。
- 2 青少年赤十字について知る。
 - ・青少年赤十字の概要、実践目標と態度目標について紹介する。
 - ① 赤十字のマーク
 - ② パンフレットの絵を使って紹介(困っている人を助けようという気持ちを行動に移すこと)
 - ③ 【健康・安全】【奉仕】【国際理解・親善】について
 - ④ 「気づき」「考え」「実行する」について
 - ・柝尾小の昨年度の活動例(マスクの作成と寄贈、シトラスリボンの取り組み)
- 3 実際にどんなことができそうか考える。
 - ・防災学習をよりよくするためにできることを2つ以上考える。
 - ・委員会や係活動でも人のためになることを「気づき、考え、実行する」を大切に活動するとよいことを確認する。



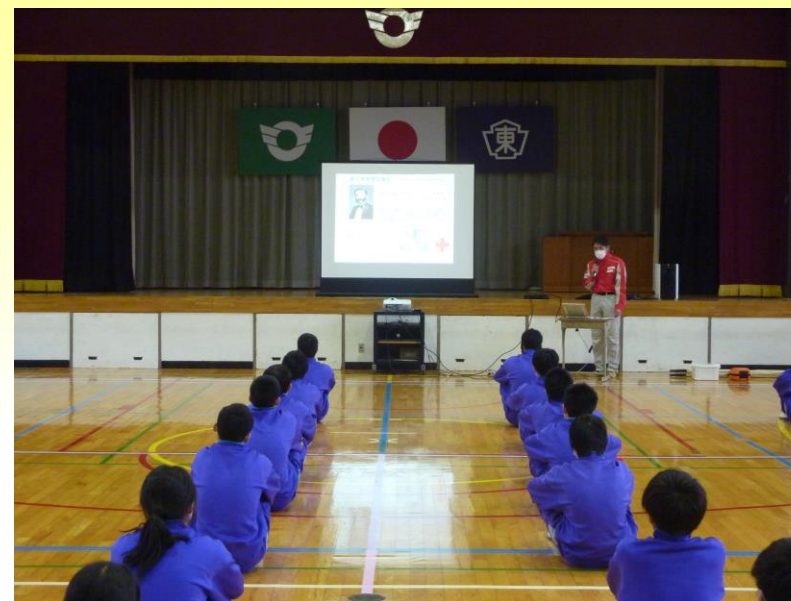
青少年赤十字創立100周年事業推進校④



- 1 日 時 令和3年4月8日(木)
- 2 場 全校集会
- 3 担 当 日本赤十字社岐阜県支部職員
- 4 児童数 39名+教職員13名

東白川村立東白川中学校

令和3年4月8日(木)に、本年度「青少年赤十字100周年事業推進校」である東白川村立東白川中学校において行われた命を守る訓練の後、日本赤十字社岐阜県支部組織振興課の職員が、キックオフの会を兼ねて「赤十字・青少年赤十字、防災」などについて説明いたしました。職員の話を、頷きながら真剣に聞く生徒の皆さんの姿がとても印象的でした。



青少年赤十字創立100周年事業推進校一⑤



- 1 日 時 令和3年6月15日(火)
- 2 場 全校放送による集会
- 3 担 当 生徒会担当教諭
- 4 児童数 1,079名+85名

岐阜県立岐阜高等学校

本校では毎年様々なボランティア活動に取り組んでいますが、この主旨が認められ、今年度日本赤十字社岐阜県支部から、助成金を受け、本校におけるボランティア活動を支援いただけることとなりました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、殆どの活動ができなくなってしまいましたので、令和元年まで取り組んできた主なボランティア活動を紹介します。

- ・ESS部を中心とした、鶉飼通訳ボランティア
- ・音楽部を中心とした、松波病院や福祉施設、小中学校への訪問演奏
- ・家庭クラブを中心とした、岐阜盲学校点字通訳ボランティア
- ・生活委員や美化委員、生徒有志らによる地域清掃活動「太陽の日」
- ・音楽部、家庭クラブ、生徒会執行部、生徒有志による盲人施設訪問
- ・全校生徒に呼びかけて実施している歳末助け合い募金活動

赤十字の精神である「博愛」「人道」に、興味を抱く人は、ぜひ積極的に参加してください。直接ボランティア活動に参加ができなくても、「自分や周りの人が幸せになるために」、「周りに困っている人がいたら助け合う」など、身近な課題や問題点について「気づき」「考え」「実行する」ことが、青少年赤十字の活動に繋がります。直接参加できない人も、「やさしさ」や「思いやりの心」を大切に、日常生活の中でできることを見つけ、行動してください。岐高生ができることは、身近なところにたくさんあります。



研究推進モニター校①

- 1 日時 令和3年7月8日（木）
- 2 場 全校朝活動
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 793名

岐阜市立鶉小学校

- (1)赤十字とは
- (2)アンリ・デュナンの思い
- (3)青少年赤十字でめざす3つの内容について
 - ①いのちと健康 ②奉仕 ③友好・親善
- (4)青少年赤十字のモニター校として目指す態度や具体的な活動
 - ①3つのめざす内容を具現するための態度「気付き 考え 実行する」について
 - ②3つのめざす内容につながる活動例紹介
- (5)まとめ

アンリ・デュナンの思いを受けつぎ、青少年赤十字の活動を皆で行うこと。

身近な生活に目を向けて、気づき・考え・実行し、よりよい学校や地域にしていくこと。青少年赤十字の活動を通して自分を磨き、ゆたかでたくましい鶉の子になること。



研究推進モニター校②

- 1 日時 令和3年5月10日（月）
- 2 場 全校集会 各教室
- 3 担当 5年生担当者
- 4 児童数 495名+教職員26名

岐阜市立長森西小学校

- ・赤十字について （赤十字の成り立ち、意味と約束、歴史、活動内容など）
- ・自分たちができること



研究推進モニター校③

- 1 日時
令和3年12月23日（木）
- 2 場 所
ほけんだより
- 3 担 当
養護教諭
- 4 児童数
433名+教職員25名

各務原市立
那加第三小学校

キックオフの会で話した内容

- ① 赤十字とは
- ② 赤十字マークのおこり
- ③ モニター校に選出されたことと取り組む内容

全校児童に配付したほけんだより ▶

なかさんしょう
那加三小が

せいしょうねんせきじゅうじけんきゅうすいしん こう
「青少年赤十字研究推進モニター校」

えら
に選ばれました。

- 歯科検診結果を新型コロナウイルス流行前後と比較すると、どの学年も流行前より、むし歯がある児童数が増加していました。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校では給食後の一斉歯みがきや、集団での歯垢染め出しを中止しています。
- 日本赤十字社から寄付金をいただき、家庭で使用できるプラークテスター（歯垢染め出し液）を購入しました。冬休みに家で染め出しをして、歯みがきが上手くてできるか確認しましょう。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

- 赤十字は、スイス人のアンリー・デュナンが提唱しました。そのため、赤十字のマークはスイスの国旗をもとに作られています。
- 令和2年現在、世界の192/196カ国が赤十字社に加盟しています。
- 青少年赤十字が大切にしている活動は「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」です。「自分や周りの人が幸せになるために」「周りに困っている人がいたら助け合うために」、身近な課題に「気付き、考え、実行する」ことを目標にしています。
- 令和3年度、岐阜県では25の園・学校・施設が青少年赤十字研究推進モニター校に指定され、活動しています。



研究推進モニター校一校④

- 1 日時 令和3年12月1日(水)
- 2 場 昼の全校放送
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 児童201名 教職員21名

瑞穂市立西小学校

① 赤十字マークの意味

② 赤十字とは

③ 青少年赤十字とは

④ モニター校になって

○ 西小学校がモニター校としてテントをいただいたり、防災キャンプで講師に来ていただいたり、赤十字社から支援をいただいていること。

○ 西小学校が普段から大切にしている「思いやり」や仲間と共に取り組むことが、そのまま赤十字の活動につながっていること、一人一人が思いやりをもって周りの人と支え合うことが世界につながるものになることを伝えました。



▲ 教室で赤十字の紹介を聞く子どもたち



▲ 放送室から全校に向けて説明をする教頭

研究推進モニター校⑤

- 1 日時 令和3年5月1日(火)
- 2 場 全校集会
- 3 担当 校長
- 4 児童数 31名+教職員8名

大垣市立時小学校

- ①JRCとは
- ②赤十字マークの意味とアンリー・デュナンの願い
- ③JRCの三つの柱と実践目標
- ④JRCの一員として私たちにできることを考え、学年の仲間と交流しよう

<テーマ> 問題や課題に『気づき』、その解決のために『考え』、そして適切な判断をして『実行』しよう。

→「花づくり」の取組では…

→「時の地域のかがやき(魅力)」を伝える活動では…



私たちは、青少年赤十字の一員として、
どんなことができるでしょうか？



がっこう
学校で

がっきゅう
学級で

はん
なかよし班で

かぞく
家族の一員として

ちいき
地域の中で

研究推進モニター校一⑥

- 1 日時 令和3年10月1日（金）
- 2 場 オンライン集会
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 61名+教職員数11名

海津市立西江小学校

- ・日本赤十字社岐阜県支部より感謝状が贈られてきたことの紹介
- ・赤十字のマークについての説明
- ・アンリー・デュナンの紹介(どこの国の方か、なぜ赤十字社をつくることを考えたのか)
- ・西江小学校で行っている「いのちと健康」を守る取組について



▲「ウイルスに負けないんジャー」の掲示



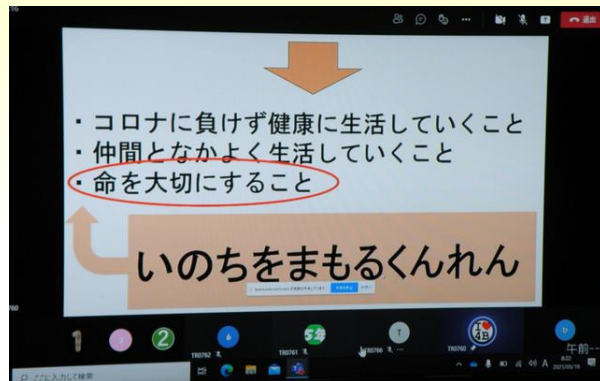
▲ミニ防災訓練の様子

研究推進モニター校⑦

- 1 日時 令和3年5月19日（水）
- 2 場 全校朝活動
（オンラインで各クラスにプレゼンテーションを配信して実施）
- 3 担当 健康安全指導部
- 4 児童数 183名＋教職員数16名

垂井町立表差小学校

- (1)赤十字社について
創設の経緯 理念 アンリーデュナン
- (2)青少年赤十字社について：
本校も加盟し、表佐小の一人一人がメンバーであること
令和4年度モニター校の指定を受けたこと
- (3)モニター校としての本校のテーマについて：
「健康・安全」に関わって、「防災学習」について1年間取り組むこと。



▲ テーマ「まもろう わたしのいのち みんなのいのち」



研究推進モニター校一⑧

- 1 日 時 令和3年8月26日（木）
- 2 場 全校集会（校長室と各学級をオンラインでつないで実施）
- 3 担 当 校長
- 4 児童数 148名+教職員13名

神戸町立南平野小学校

キーワード「未見の我」

「まだ見ていない自分」「まだ出会っていない自分」に出会おう！

人は、たくさんの素晴らしい力、才能を持っている。

その眠っている才能、まだ出会ったことのない自分＝「未見の我」に出会おう。

どんな小さなことでも、新しく出会う自分は全て「未見の我」。

その「未見の我」に出会うために必要なことは「本気」と「全力」。

「こんな自分、すごいな。」「私、頑張った！」「こんな自分になれて嬉しいな。」

「自分のため」に努力する。「仲間のこと」を思いやる。

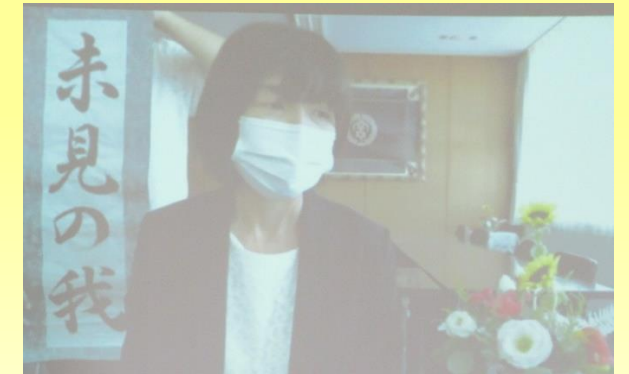
「家族や地域の人達のために」考えて動く。

一人一人が、自分・仲間・まわりの人達のために「気づいて・考えて・実行する。」

青少年赤十字の実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」について、

「自分には何が出来るか？」「自分は何をしたいのか？」を考えて動き出そう！

「未見の我」に出会うチャンスはたくさんある！



研究推進モニター校一⑨

- 1 日 時 令和3年11月16日(火)
- 2 場 5年生各学級において
- 3 担 当 教頭
- 4 児童数 54名+教職員5名

美濃市立美濃小学校

- ①赤十字についての説明
- ②赤十字のテーマ
- ③赤十字の活動紹介
- ④美濃小の青少年赤十字の説明
- ⑤美濃小の青少年赤十字に関わる活動について
- ⑥今後の活動で大切にしたい心と態度



研究推進モニター校一⑩

- 1 日時 令和3年4月30日（金）
- 2 場 全校朝会（放送）
- 3 担当 教務主任
- 4 児童数 130名

美濃市立藍見小学校

○校長が、「青少年赤十字ハンドブック(小学生用)」をもとにして、
下記の①～⑤のような内容を放送で話した。

○教室では、学級担任が「青少年赤十字ハンドブック(小学生用)」をもとにしたプレゼンテーションを
大型テレビに映して、話が分かりやすいようにした。

- ① 青少年赤十字とは
- ② 赤十字の活動
- ③ アンリー・デュナンの功績
(赤十字のおこり)
- ④ 赤十字とは
- ⑤ モニター校になったことについて



研究推進モニター校⑪

1	日時	令和3年4月23日（金）
2	場	児童：昼の放送 保護者：PTA総会にて紹介
3	担当	教頭
4	児童数	74名

郡上市立牛道小学校

- ・赤十字の活動の説明
- ・赤十字社から頂ける補助金で、購入するものについての説明

研究推進モニター校⑫

- 1 日時 令和3年4月19日（月）13:50～
- 2 場 5・6年生集会（コロナ禍のため全校児童の参集ができず）
- 3 担当 校長、教頭
- 4 児童数 35名＋教職員6名

郡上市立大中小学校

主な話の内容

- ・ 赤十字の組織や活動について説明。
- ・ 赤十字の歴史的な意義
- ・ 本校が、赤十字研究推進モニター校に指定されたこと
- ・ 青少年赤十字についての説明。
- ・ 本校が「なかよし宣言」を大切に生活していること
（集会後、「なかよし宣言」の内容を全校ZOOM集会で紹介）
- ・ 本校が「生命と健康」を大切にしている活動として、
「防災トレーニング」を行っていること
- ・ ふるさとのよさを学び、継承していくこと



研究推進モニター校一校一⑬

- 1 日時 令和3年5月12日(水)
- 2 場 お昼の放送
- 3 担当 養護教諭
- 4 児童数 240名

土岐市立妻木小学校

①赤十字の活動について(歴史)

②青年赤十字の一員として
自分たちができること

③活動の具体例

- ・怪我をした友達を助ける
- ・校内の破損した場所に気付いて、直す等



研究推進モニター校一⑭

- 1 日時 令和3年2月10日(木)
- 2 場 お昼の放送
- 3 担当 養護教諭
- 4 児童数 415名+教職員30名

恵那市立大井第二小学校

- ①赤十字マークについて
- ②青少年赤十字について

- ・メンバーの人数
- ・活動のめあて
- ・わたしたちにできること(気づく・考える・実行する)

健康・安全… 安全にけがなく生活、コロナ予防対策、歯と口の健康

奉仕・ボランティア… お年寄りや体の不自由な方への

国際理解・親善… 外国のことを知る、募金活動(思いやり、資源回収)

※自分たちが青少年赤十字のメンバーであることを再確認し、自分たちができることを実践していこうと意欲を高めることができた。



研究推進モニター校一⑮

- 1 日時 令和3年7月1日(木)
- 2 場 全校朝会
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 83名+教職員12名

中津川市立下野小学校

<全校朝会でプレゼンを活用して話された主な項目>

- ① 赤十字の誕生した歴史について
- ② アンリーデュナンさんについて
- ③ 赤十字の思いと活動について
- ④ 青少年赤十字について
- ⑤ 「気づき」「考え」「実行しよう」
という精神で、身の回りでできる
ことから始めましょう。



研究推進モニター校①⑥

- 1 日時 令和3年4月30日（金）
- 2 場 命を守る訓練
- 3 担当 校長、担当教員
- 4 児童数 141名、教職員18名

下呂市立竹原小学校

○第1回命を守る訓練を実施後に、担当の先生や校長先生からは

- ・「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の大切さ
- ・机がない時にどうしたらよいかをいつも考えること
- ・身のまわりにある「倒れてくる物・落ちてくる物・動いてくる物」を確認すること。

○シェイクアウト訓練を毎月1回実施するので、帰りの会などで避難行動を話し合うことが伝えられました。

○考え続ける「命を守る学習」がスタートしました。ご家庭においても、「今地震が来たら？」をぜひ話題にしてもらいたい。

などの話をされると同時に、研究推進モニター校として防災について取り組んでいくことを話されました。

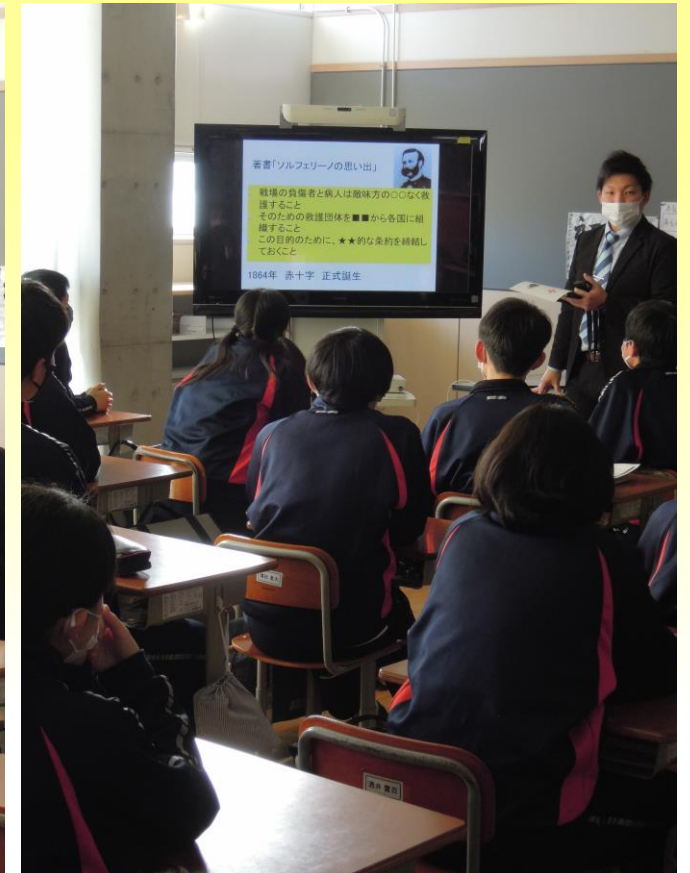


研究推進モニター校一⑰

- 1 日時 令和3年10月22日（金）
- 2 場 朝の会
- 3 担当 2年生学級担任
- 4 児童数 113名+教職員6名

岐阜市立岐阜中央中学校

- ・赤十字のはじまり
- ・アンリー・デュナンの紹介
- ・著書「ソルフェリーノの思い出」の紹介
- ・青少年赤十字と本校2年生の防災教育



研究推進モニター校⑱

- 1 日時 令和3年9月10日（金）
- 2 場 オンライン授業
- 3 担当 1年学年主任、防災教育学習担当者
- 4 児童数 155名

岐阜市立岩野田中学校

- ・防災学習について、学習の見通しをもつ。
- ・自然災害に関わる動画を視聴し感想をもつ。

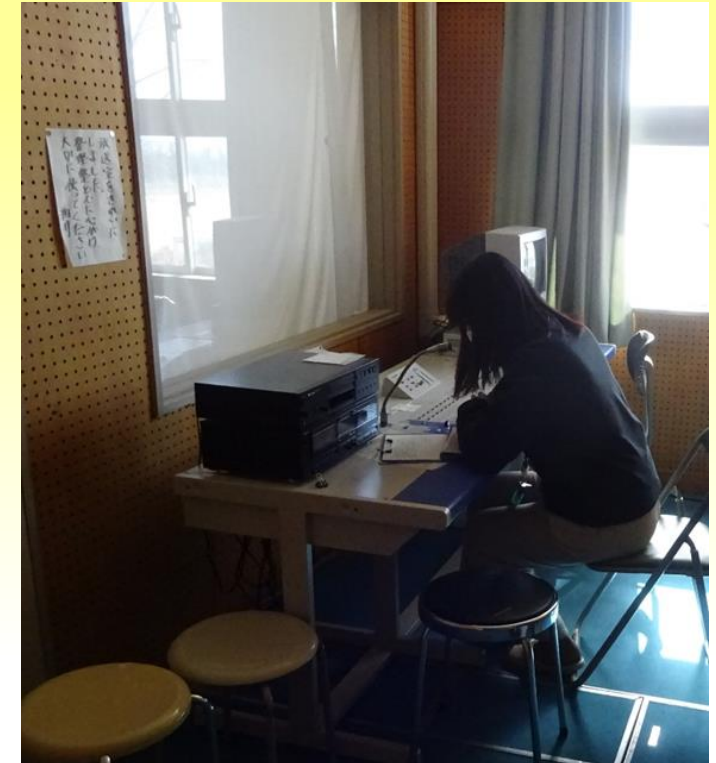
研究推進モニター校一⑱

- 1 日時 令和4年2月7日（月）
- 2 場 お昼の放送
- 3 担当 福祉教育担当
- 4 児童数 316名

各務原市立緑陽中学校

- ①赤十字社についての説明
- ②赤十字社の活動紹介
- ③昨年度の緑陽中学校と赤十字社とのつながりについて
- ④モニター校としてフラワーエンジェル活動を行うことについて

お昼の放送では、赤十字社の活動を紹介するとともに、赤十字社に緑陽中学校のボランティア活動を支援していただけていることを伝えることができた。



研究推進モニター校一校一⑳

- 1 日時 令和3年4月27日(火)
- 2 場 全校朝会(リモート)
- 3 担当 教頭
- 4 児童数 69名+教職員12名

山県市立伊自良中学校

①赤十字の説明

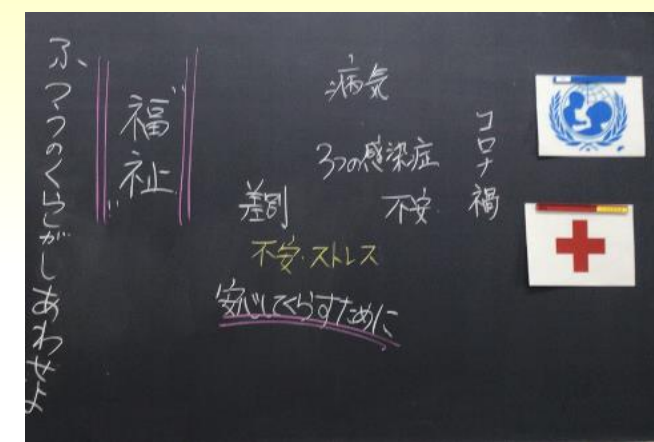
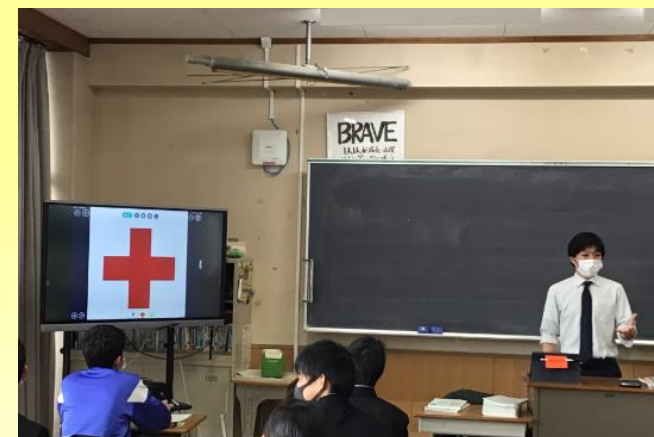
- ・赤十字の歴史と目的
- ・私たちと赤十字の関わり

②日本赤十字社の取組や活動についての説明

- ・日本赤十字社の社会貢献
- ・モニター校としての今後の取組

③コロナ禍における自分たちのできること

- ・今、自分のできること



研究推進モニター校一校一②①

- 1 日時 令和3年4月9日（金）
- 2 場 昼の放送
- 3 担当 福祉教育担当者
- 4 児童数 721名+教職員45名

池田町立池田中学校

新型コロナウイルス感染症の拡大により、校内放送にて担当者が以下の内容を説明した。

- ①ボランティア活動の意義
- ②赤十字の概要(成り立ち)
- ③赤十字の活動内容



福祉教育担当者が放送する様子

研究推進モニター校②

- 1 日時 令和3年4月20日(火)
- 2 場 全校集会
- 3 担当 校長
- 4 児童数 390名

恵那市立恵那西中学校

4月20日(火)に行った『さわやか集会』(全校集会)では、平成26年度前期生徒会長と後期生徒会副会長(共に大学4年生)を招き、本校マスコットキャラクター『ウエストーン』の誕生秘話について講話をしていただいた。

その集会の中で、JRCの活動について校長から講話があった。

- ・今年度、恵那西中学校が推進校に指定していただいたこと。
- ・誰もが気持ちよく生活できる学校にするために『花いっぱい活動について』などについての講話があった。

令和3年度を通して、恵那西中学校の行事などでは、『ウエストーン』が登場し、先輩方から受け継いできた仲間と協力して粘り強く取り組むことの大切さを折に触れて確かめ合いながら歩んでいった。

マスコットキャラクター『ウエストーン』

校長講話『キックオフの会』▶



研究推進モニター校一⑳

- 1 日 時 令和3年6月上旬
- 2 場 全校集会（ランチルーム）
- 3 担 当 校長
- 4 生徒数 82名

恵那市立恵那北中学校

- ここランチルームに設置してある テントにも赤十字社のマークが入っているのに気づいていましたか？ これも昨年度、日本赤十字社が寄付してくださったものです。強烈な日差しから守ってくれるのに大いに役立っています。（ランチルーム天窓から入る直射日光を遮るのに使用中。）
- 「赤十字」といえば、戦争で傷ついた人を救うというイメージがあります。なぜこのように私たちを助けてくれるのでしょうか？
- その答えは、赤十字社の精神が「人道・博愛」だからです。わかりやすい言葉で言うと、「やさしさ」や「思いやり」です。苦しい境地にある人々に救いの手を差し伸べる活動を行っています。敵味方にかかわらず、です。これを100年以上にわたって続けられています。現在も、「自分や周りの人が幸せになるために」「周りに困っている人がいたら助け合う」等、身近な課題や問題点に「気づき、考え、実行する」ことを大切にして、活動されています。
- 青少年赤十字が大切にしている活動は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」です。今回は、そのうちの「国際理解・親善」にかかわる活動をあと押ししてください。赤十字社の善意に応え、デジタル教科書を家でも学校でも最大限に活用して英語の勉強を頑張ってください。そして、英語でのコミュニケーションを大いに楽しんでください。



研究推進モニター校一校一②④

- 1 日時 令和3年6月16日(水)
- 2 場 お昼の放送時、放送室から全校放送
- 3 担当 養護教諭、保健委員長
- 4 児童数 生徒594名+教職員54名

飛騨学園 高山西高等学校

- ・青少年赤十字モニター校になったことについて
- ・青年赤十字の活動について、活動内容、どのように関わって活動していくのか。
- ・本校の実践目標について、体を守る機能である免疫に力を入れる。

「免疫力を高めて、感染症を予防しよう」

- 1) 免疫とは何かを知る。
- 2) 免疫力を高め、体の不調を少なくするには、どんな方法があるか。
- 3) 手の汚れを調べる。
(手洗いキットを使い、手の汚れを調査)
・手洗い石鹼を使用して手の汚れを調査。
- 4) 免疫力を高める。葉の作成
(ストレスの発散方法の1つとして)自己啓発する。



▲放送室にて全校放送

研究推進モニター校一②⑤

- 1 日 時 令和3年7月
- 2 場 全校集会（オンラインで実施）
- 3 担 当 健康安全部長
- 4 児童数 76名

岐阜県立揖斐特別支援学校

①日本赤十字社とは

②青少年赤十字とは

③モニター校になったことについて

④青少年赤十字の活動

・命を守る:命を守る訓練で命を守る方法を知ろう



最後までご覧頂きありがとうございました。

各学校では、全校の児童生徒の皆さんだけでなく、教職員の皆さんにも、自校が青少年赤十字に加盟していることや、日頃取り組んでいることが青少年赤十字に関わった取組につながっていることについて、改めて知っていただく機会になったのではないのでしょうか。

これからも、青少年赤十字活動に積極的に取り組んでもらえることを期待しています。